

# 常に現場を科学する 研究開発型の農業カンパニー

農地所有適格法人 株式会社浅井農園

代表取締役 浅井雄一郎





**(株)浅井農園 代表取締役 浅井雄一郎 博士(学術)**

▼Corporate Philosophy / コーポレート・フィロソフィ

「植物と一歩先の未来へ」 / 「Make it better with plants」

▼Corporate Slogan / コーポレート・スローガン

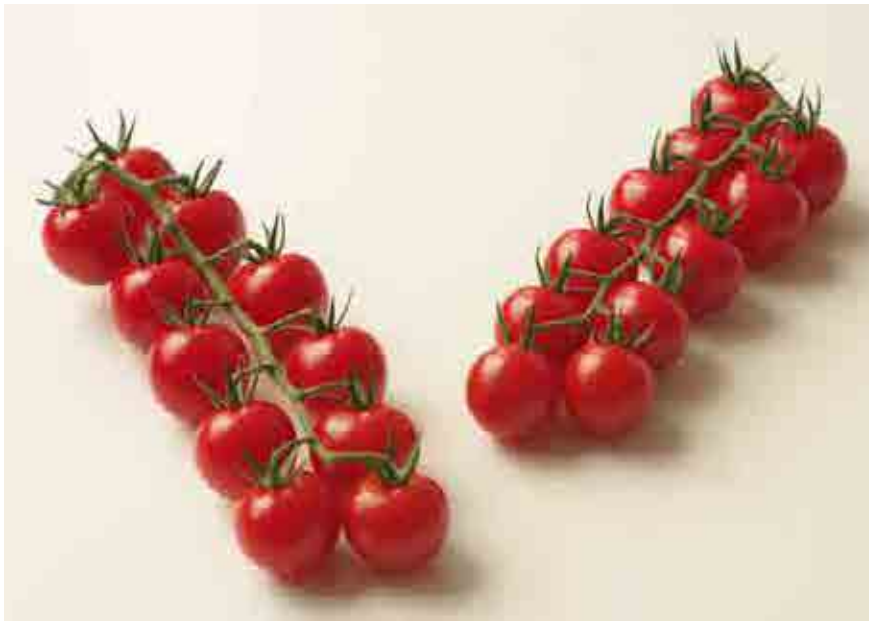
「常に現場を科学する 研究開発型の農業カンパニーを目指す」

▼Corporate Profile / コーポレート・プロフィール

- ・会社名： 株式会社浅井農園（英名：Asai Nursery, Inc.）
- ・所在地：（本社/研究棟） 三重県津市高野尾町4951番地  
（生産第1拠点） 三重県津市芸濃町棕本  
（生産第2拠点） 三重県松阪市嬉野新屋庄町（うれし野アグリ株）  
（生産第3拠点） 三重県津市大里野田町  
（生産第4拠点） 三重県いなべ市大安町大井田（株アグリッド）  
（生産第5拠点） 三重県度会郡玉城町原  
（生産第6拠点） 福島県南相馬市市原町区下太田（南相馬復興アグリ株）
- ・創業日： 1907年（設立：1975年1月20日）
- ・代表者： 代表取締役 浅井 雄一郎
- ・資本金： 139,000,000円(資本準備金含む)
- ・生産概要： トマト生産施設・約13ha\* \*グループ合計  
果樹生産園地・約8ha / 花木生産園地・約5ha / 研究開発施設・0.2ha
- ・社員数： （単体）約100名 （グループ計）約500名\* \*パートタイム従業員含む
- ・グループ会社： うれし野アグリ株（三重県松阪市） / 株アグリッド（三重県いなべ市） /  
南相馬復興アグリ株（福島県南相馬市）



あさい農園  
ASAI NURSERY



## 独自品種開発と栽培管理技術によりオーダーメイド型の商品開発を実現

▼川上(種子)～川下(流通)まで新たな農業バリューチェーンの確立

マーケティング

研究開発

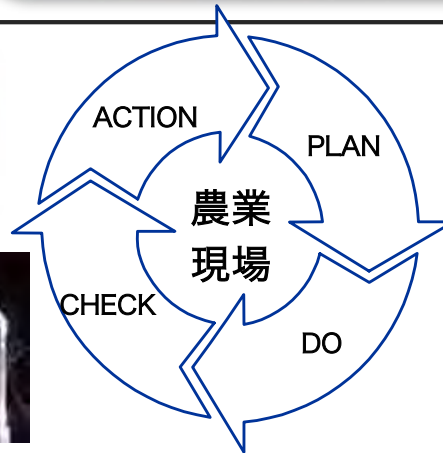
生産管理

加工商品化

流通開発

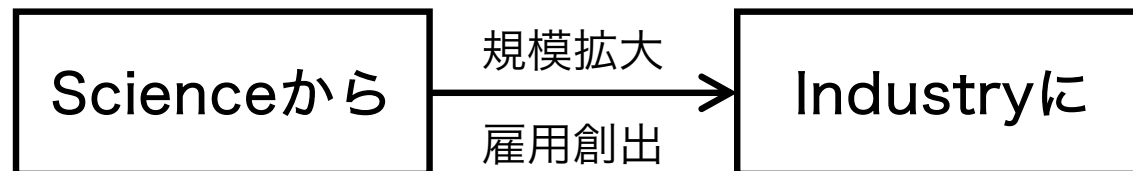


オリジナル新品種  
農作業ロボット等  
研究開発に注力



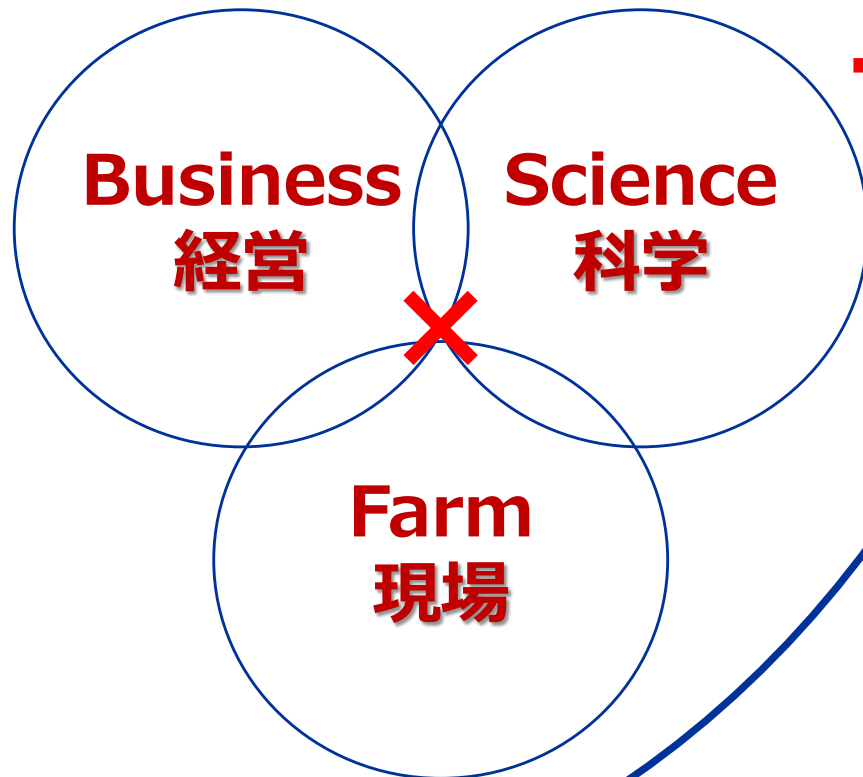
▼農業生産管理/品質管理におけるPDCA

- ✓ 顧客ニーズに基づく正しい生産設計
- ✓ 計画に対する結果のフィードバック
- ✓ 成功経験、課題、改善点の洗い出し
- ✓ 暗黙知⇒形式知、再現性のある農業



お客様のニーズに基づき、川上(種子)から川下(流通)まで  
独自の農業バリューチェーン構築により新たな価値創出を実現

浅井農園の求める  
農業人財像



Language  
語学

+

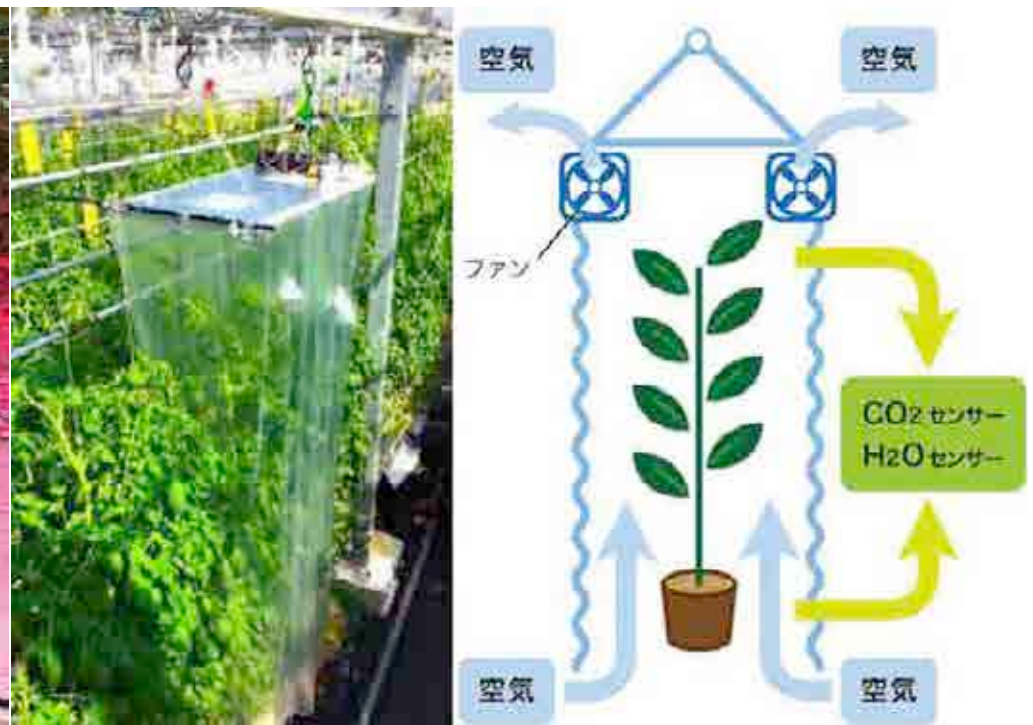
1. 生産圃場 = 研究農場
2. 全社員が研究テーマを持つ
3. 常に現場を科学する

ただの農業者ではない、  
Agronomist（農学士）集団へ

常に現場を科学する、“研究開発型の”農業カンパニーを目指す

あさい農園 研究専用施設 1,000㎡×2区画（2015～）







R&D Oriented

Local Oriented

**それぞれの地域・特性に合わせて**

**ゼロ → イチ**

**新しいモデル・価値を生み出す**

# 木質バイオマス資源のカスケード利用モデル事業(三重県松阪市・2014～)

ミニトマト  
植物工場

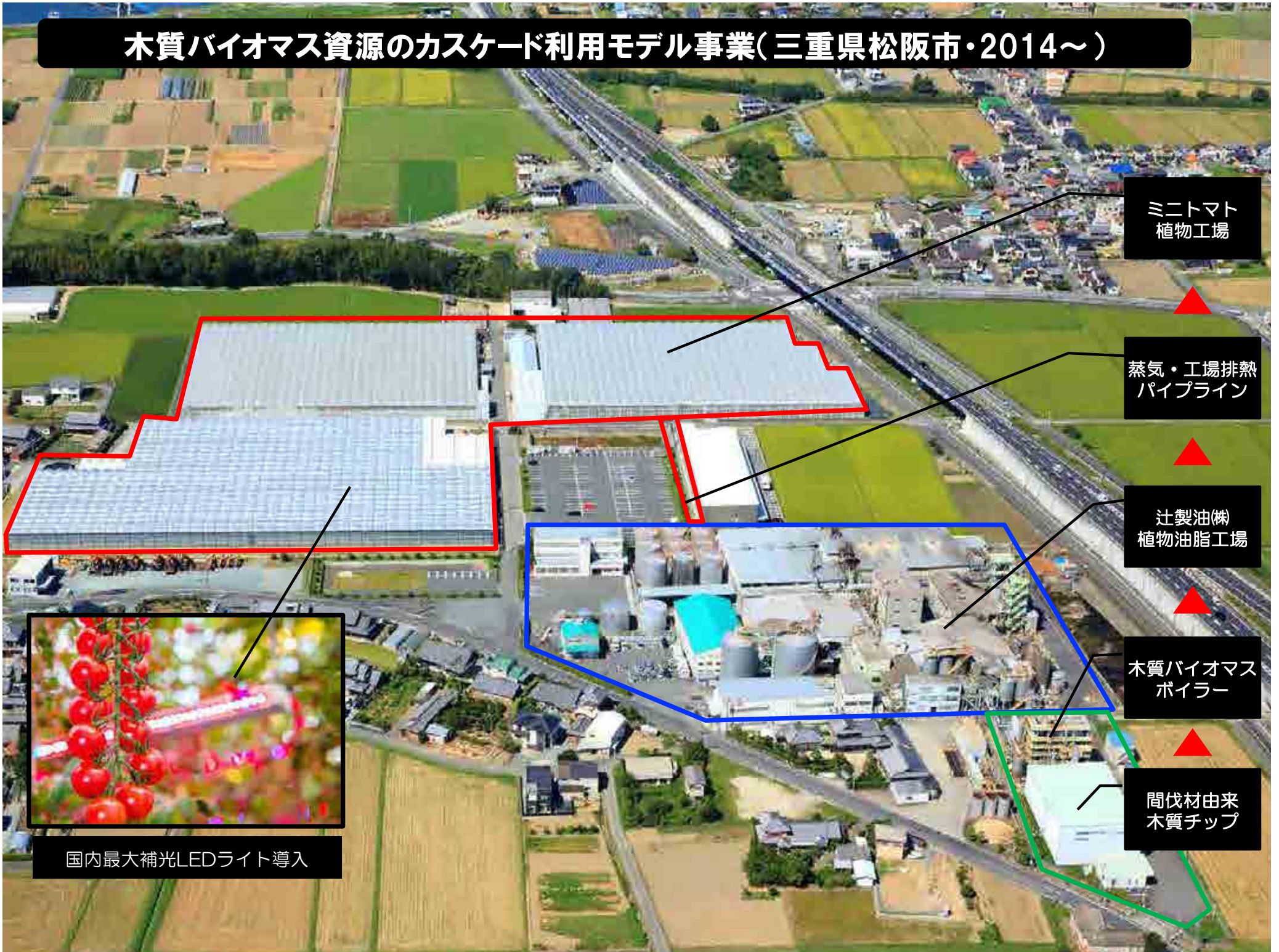
蒸気・工場排熱  
パイプライン

辻製油(株)  
植物油脂工場

木質バイオマス  
ボイラー

間伐材由来  
木質チップ

国内最大補光LEDライト導入



# ヒトとロボットが協働する次世代トマト生産モデル事業(三重県いなべ市・2018～)

会社名	株式会社アグリッド/AgriD,inc (2018年8月1日設立)
資本金	5,000万円
出資比率	浅井農園:51% デンソー:49%
場所	三重県 いなべ市
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トマト等野菜の生産販売</li> <li>・農作業ロボットなど次世代施設園芸モデルの開発、実証</li> <li>・農業技術経営人財の育成</li> </ul>



## <取組内容> 三重県から世界へ発信する、次世代型農業生産システムの具現化

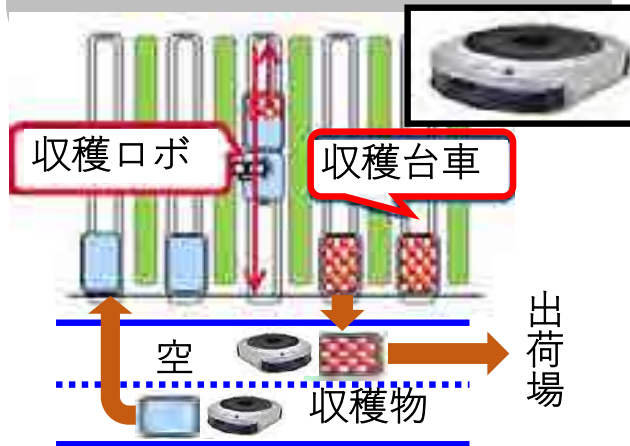
### 人とロボットが協働する生産方式

自動収穫ロボットの稼働により労働生産性を飛躍的に向上



収穫ロボットは24h夜も稼働

### 自動搬送システム導入



### スマート栽培管理

植物生体情報の見える化により栽培管理を最適化



頻繁には測定困難



24時間見える化

Confidential  
禁複製

# 本州最大のキウイフルーツ農地集積利用モデル事業(三重県玉城町・2019～)



# 本州最大のキウイフルーツ農地集積利用モデル事業(2019)



**世界中から農業を志す若者たちが集結  
常に現場を科学するアグロノミスト(農学士)集団へ**



## 資金調達

- ・ 設備資金（長期）：国の制度融資を活用  
→事業性評価融資の拡大を期待 ※通常は担保、個人保証必要
- ・ 運転資金（短期）：市中金融機関からの融資を活用
- ・ 無議決権配当優先株式発行による第三者割当増資の実施

## IPO

- ・ 業界として上場企業が増える事は良いこと  
(コーポレートガバナンス、コンプライアンス、透明性、知名度、子どもたちの職業選択肢に入る)
- ・ 但し、農地転用目的や短期的投資による農地所有適格法人の買収等を防ぐ為のセーフティネットが必要

## 農地

- ・ 農業用施設の整備において、農業生産活動に必要な不可欠であるトイレ、休憩室、出荷場、駐車場等については、宅地転用不要、農地のまま建設できるようにして欲しい。
- ・ 利用価値の高い優良農地を未来に繋いでいく為、農地集積および再基盤整備を推進し、農地の流動性を高める政策を期待。